

オアシス

医療法人 済恵会 広報誌

2022年1月

NO.95



●2P 2022年明けましておめでとうございます

医療法人済恵会 理事長 須藤 英仁

●6P 3回目コロナワクチン接種 もう少しです！

外来看護師長 神戸 大介

●3P 新年のご挨拶

副院長・看護部長 佐藤 明美

●7P 2022年 成人式を迎えて

●4-5P 老健めぐみより 新年のご挨拶

老健めぐみ リハビリテーション科 科長 菅根 利明

医療法人
済 恵 会

須藤病院

安中市安中3532-5
TEL 027(382)3131

介護老人保健施設
めぐみ

デイサービス
さくら

居宅介護支援事業所
こかげ

訪問介護サービス
ひだまり

2022年明けまして おめでとうございます

医療法人済恵会 理事長 須藤 英仁



明けましておめでとうございます。本年が皆さんにとりまして素晴らしい年となりますよう心より祈念しております。

さて、昨年は日本中が新型コロナウイルス感染症の対応で揺れる中、当院でもかぜ発熱外来、安中市のPCR検査センター、ワクチン接種の実施など病院としてできる限りの対応を重ねてまいりました。かぜ発熱外来では2020年2月以来受診者総数2,801人、PCR検査件数2,714件を数えております。また、ワクチン接種は全職員の協力により昼休みを中心に行い延べ接種回数は15,000件以上となりました。安中市は幸い大規模なクラスターの発生を見ることなく年末年始を迎えられたのは、当院を受診してくださる患者さんをはじめ多くの安中市民の皆さんの協力のたまものと感謝しております。

さてコロナ禍、多くの新しい取り組みが行われるようになりました。その多くはICTを用いた情報共有です。当院を中心とした地域包括ケア情報ラインは現在診療所9か所、介護施設20か所以上の参加をいただいております。発足以来5年以上が経過し、会議は60回以上に及んでおりますが、参加施設のご

理解によりWeb会議にて継続することができました。明らかにICTの進歩が一気に医療界に及んだ印象を強く持っております。

当院でも初診時AI問診を受けられた患者さんもいらっしゃると思いますが、タブレット端末より自分の症状を打ち込むとAIにより必要な検査、考えられる病名などが直ぐに電子カルテに表示され診療の助けとなるものです。またオンライン診療もかかりつけの患者さんで普段の状態をよく分っていれば有益な手段となり得ると思います。

今年度当院ではネットでの本格的な予約診療導入を目指し電子カルテの改修を行いたいと考えております。これまでも予約診療を行っていましたが電子カルテ本体との連動は不十分であり、来院時または電話での予約のみでした。今後は外部からの予約が可能となるようにしたいと考えております。少しでも待ち時間を減らし患者さんの負担軽減につながればと考えております。

今年も感染予防に全力を傾け一般診療が滞りなく行えるよう努力してまいりますのでよろしくお願い致します。

新年のご挨拶

副院長・看護部長
佐藤 明美



あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年を迎えられたことと、お慶び申し上げます。旧年中は当院の診療体制にご理解いただきありがとうございました。

さてこの2年間は、社会も医療業界も新型コロナウイルス感染症対策に翻弄された年でした。2022年はどんな年になるのでしょうか？いいえどんな年にしなければならないのでしょうか。私は基本に戻り、一般診療と病棟運営を確実に行うことが重要と考えます。今まで新型コロナウイルス感染症によって、外来では発熱患者さんの把握とかぜ発熱外来への案内、入院では入院時の感染症検査や常時面会禁止等、通常とは大分違った体制が続いていました。その中で感染症対策が優先され、患者さんのお話を十分に聴くことやご家族への対応も希薄にならざるを得なかったと思います。その点を深く反省し、お詫び申し上げます。

看護部では毎年2年目の看護師にケースレポートという、患者さんに対して何を考えて看護を提供したのかをまとめてレポートにすることを実施しています。この目的は、看護師として患者さんが何を望んでいるのかを理解して、その患者さんに合った看護を提供できるように計画・実行し看護を振り返ること

です。1年目は看護技術を身に着けること、そして業務の流れを覚えることで精いっぱいです。しかしそれだけでは、看護のやりがいを見出せません。私は日々の業務に流されず、患者さんを見ることを考えて欲しいと思います。令和3年度も昨年末からケースレポートの発表が始まりました。食べられなかった患者さんが食べるように変わった事例や、点滴を自分で抜いてしまう患者さんに、抑制をしないで抜かれないためにどうしたらいいか試行錯誤した事例、術後の患者さんの自宅での生活を支援する事例の発表を聴きました。私はそれぞれの看護師が患者さんのことを思い、看護を提供してくれたことに感謝しています。看護師自身も今回の係りで、患者さんが変わったことを実感できたと思います。これこそが看護の醍醐味です。入院生活は非日常ですが、如何に患者さんの日常を理解して係るかが重要です。今一番つらいのは何か、いつもどんな食事をしているのか、何時に寝るのか、どんなことを大事にしているのか、趣味は何だろう等、看護師が患者さんに向き合ってこそよい看護が提供できると思います。

2022年は看護師にしかできないこと、つまり患者さんやご家族が望むことに介入できる体制と人材育成を目標に取り組んでまいります。看護師一人一人が責任をもって、患者さんと向き合ってください。本年もよろしくお願いたします。

老健めぐみより 新年のご挨拶

介護老人保健施設 めぐみ リハビリテーション科 科長 理学療法士 菅根利明

須藤病院ならびに、めぐみ・さくら・なかまどをご利用の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年に引き続きコロナウイルスの感染拡大が心配な状況が今もなお続いております。デルタ株に引き続き、変異したオミクロン株が感染を拡大しつつある昨今、ワクチンの接種が重要な鍵を握っているのは言うまでもありません。私どもスタッフも全員、昨年の12月中に3回目のワクチン接種を終え、万全な感染対策をとりました。そしていつもと変わらぬサービスが提供できるよう心がけております。まだまだ終息する気配のないコロナ禍において、新しい生活様式の受け入れが必要とされています。3つの密を避け、感染対策をとしつつ日常生活を送る。こんな日々が続くようになりました。自粛による運動不足や知人との会話が減って気が滅入り、食生活も乱れがちとなっていないでしょうか？こんなコロナ禍だからこそ健康を意識する必要があります。

皆さん、「未病」という言葉をご存じでしょうか？未病とは健康と病気の間際に位置している状態であると言われております。感染予防対策として社会への参加が減り、運動不足などから身体と心の機能が低下したことにより気へと移行することもあります。そこで未病を改善するためのおすすめのおすすめの3つの対策

があります。

まず1つめは「食」の未病改善です。健康な身体作りには3食をバランスよく食べることが理想です。中でもお肉やお魚などタンパク質を摂ることがポイントです。

2つめは「社会への参加」の未病改善です。「つながり」は心身の健康にとって大切とされています。家族や友達と電話やメールで交流する。スマホやパソコンにこれから挑戦するのもよいでしょう。

そして3つめは「運動」の未病改善です。身体を動かさないことによる筋力低下は、立ち上がりや歩くのが大変になり、動くことがいっそう億劫になります。さらにはバランス機能の低下から転倒の危険性が増すこととなります。

介護老人保健施設めぐみでは、介護保険認定を受けた方（支援・要支援）を対象に短時間通所リハビリテーションのサービスを提供させていただいております。



施設の利用時間は 1時間 ~ 2時間になり、
時間内に専門のリハビリスタッフによる個別
訓練 (20分)、数種類のリハビリ機器を使用
してのトレーニングを行うというものです。
お住まいが安中市内で施設より半径 5km以内
であれば送迎のサービスもございます。



コロナ禍で筋力・体力が低下してふらつき
や動くのが大変になった。膝や腰の痛みが
出てきたなどの症状を感じている方は是非と
もこれを機に利用いただくことをお勧めしま
す。利用を始められた方の中にはコロナ禍で
外出も減り、知人との交流もなく、閉じこも
り気味になってふらつく様になったと申して

いる方が何名もいらっしゃいます。利用を開
始されてから身体の調子がよくなってきた、
痛みが無くなってきた、と言われる方も少な
くありません。短時間リハビリテーションの
サービスを利用することによって、出かける
機会が増えて身体が動きやすくなり、食欲も
出てくるなど、様々な効果が期待できます。

前に述べたような状態である、またはそう
感じている方は是非ともお気軽に施設の方へ
お声かけください。

介護老人保健施設めぐみ 担当：大澤
☎ **027-382-5951**



2022年に目指すところ

- ・ 私共は医療・介護を提供するにあたって、第一に「安全」であることを前提に進めていくことを行っています。
- ・ 日常の業務において思い込みやうっかりミスが重大な事故を引き起こす事が無いとも言えません。医療や介護においては生命に関わる事態となることも想定されます。多忙な状況であるにしろ、安全をすべてにおいて優先するように心掛け、さらなる安全活動の推進と強化を行っていきます。

以上、本年がご利用の皆様とご家族様にとって実り多く、安全で健康な幸のある一年となりますよう心より願っております。

3回目コロナワクチン接種 もう少しです！

外来看護師長 神戸 大介

あけましておめでとうございます。

旧年中は、新型コロナウイルス感染症に伴う、感染防止対策にご協力いただき、誠にありがとうございました。安中市での大規模クラスターを防止できているのは、皆様のご協力の賜物です。

新型コロナウイルス感染症において、当院では感染予防策とともにワクチン接種をすすめて参りました。接種が6月～9月と大変暑い日もある中、受付や案内などの点でご迷惑おかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。皆様のご協力のおかげで、去年は15,000回

7,000人以上の接種を実施することができました。安中市の皆様は感染予防への意識が高く、2回目まで接種を完了した割合が、88%と全国比率を大きく上回っております。そんな皆様が気になっているのは3回目の接種に関してだと考えております。

新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種は、2月より実施予定となりました。予約開始は1/17、市より3回目の接種券が届いてからになります。下記に予約に関するお知らせをまとめさせていただきました。ご確認頂きますようよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスワクチン 3回目

・ 予約開始日：1/17（月）

・ 予約専用電話番号

① 090-2760-5715

② 080-2073-1703

・ 予約時に必要なもの：3回目の接種券、診察券

・ 予約時に確認する事：

お名前、生年月日、当院に受診歴がある方は患者ID、2回目接種日

**接種開始
2/1(火)～**

ワクチン接種に関しては、副作用などの問題もあります。病院スタッフ全員で「安全・安心」にワクチンが接種できるように支援し

ていきます。安中市の皆様が、新型コロナウイルス感染をすることなく、幸多い一年が過ごせるように、微力ではありますが尽力していきます！

2022年成人式を迎えて



阪本 奈々海 一般病棟 看護学生

1月9日に無事成人式を迎えることができました。
今までよりも覚えることや勉強することが多くなり、忙しくなると思うと緊張や不安など様々な感情にかられますが、責任感を待ち勉強・仕事に励みたいと思います。



吉田 愛理 一般病棟 看護学生

コロナ禍の中、無事成人式を迎えることができました。
新成人としての自覚を持ち、勉強・仕事を頑張りたいと思います。



佐藤 明帆 一般病棟 看護補助

先日、無事成人式を迎えることができました。
新成人であることを意識し、今までよりも責任感のある行動をしていきたいと思います。



神成 唯 外来 看護学生

家族や友人に支えられ無事成人式を迎えることが出来ました。
これからはこれまで支えて下さった方々に恩返しができるように勉強、仕事の両立をしたいと思っております。今後ご指導の程よろしくお願い致します。



SUTO.REHA

病院公式SNS是非ご覧ください

※当院SNSに掲載する情報の正確さについては注意しておりますが、公式な情報については当院のホームページをご確認ください。